

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 文化・教養 学科名： グラフィックデザイン科

| 学年 | 科目コード  | 科目名           | 時間数 | 内容   |
|----|--------|---------------|-----|--|
| 1  | A1-K04 | デザイン編集ツール I   | 240 | Illustrator/Photoshopを使用した制作業務経験のある講師が実施することとする。<br>Illustrator/Photoshopを習得することで、PCによるデザイン制作の基礎を身につけ、図形の作図、紙面レイアウト等、基本から応用までステップバイステップで技能を学ぶ。 |
| 1  | A1-K06 | 広告知識 I        | 60  | 広告関連業務に従事した経験のある講師が実施することとする。企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。また、表現やイラストレーションの一部として文字をイラスト化したタイポグラフィなどデザインの発想を鍛える。                                  |
| 1  | A1-K08 | WEB基礎         | 30  | WEBデザイン制作業務経験のある講師が実施することとする。WEBデザインの基本・楽しさを学び、基礎的なコーディング技術を身につける。   |
| 1  | A1-K10 | 表現基礎 I        | 180 | 多様な手法を用いた表現・制作の経験がある講師が実施することとする。デザイン全般の役割を学び、デザインへの理解を深め、学習意欲の向上を図る。デッサンや平面構成、サムネイル制作などデザイン工程における基礎技術の習得を行う。                                  |
| 1  | A1-K12 | 制作演習選択 I      | 60  | 現役デザイナーである講師が実施することとする。イラストレーションやポリゴン・モザイクアート等、多様な表現方法を学ぶ。   |
| 1  | A1-K14 | 写真基礎          | 60  | デザイン事務所経営者である講師が実施することとする。コミュニケーションツールにおける写真の役割を理解する。写真撮影の基礎技術（機材の取扱い方や商品に合わせた照明・撮影）を学び商業フォトの基礎撮影を実践する。  |
| 1  | A1-K16 | 入稿技術 I        | 120 | デザイン事務所経営者である講師が実施することとする。様々な印刷媒体の制作実習を通して、ポスター・冊子・パッケージ・特殊印刷等において、レイアウトから入稿までのDTP技術・知識を身に着ける。   |
| 1  | A1-K19 | コミュニケーションデザイン | 50  | 現役デザイナーである講師が実施することとする。デザインの持つ意味や概念をより深く知るため、マーケティング的発想を使い、実際のクライアントワークとしての商品パッケージ（ラベル）をデザインする。  |
| 1  | A1-K25 | 修了制作 I        | 30  | 現役デザイナーである講師が実施することとする。1年次の授業の集大成として学びの成果を評価する。マーケティングを意識した企画の中で、ソフトのオペレーション技能から、写真、イラストレーション、レイアウトのスキルを利用した作品制作を行う。                           |
| 合計 |        | 9科目           | 830 |  |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： デジタルコンテンツ科

| 学年 | 科目コード  | 科目名       | 時間数 | 内容   |
|----|--------|-----------|-----|--|
| 1  | W1-K07 | デザイン編集ツール | 180 | ドローツールや画像編集ツールの操作技術を習得することで、制作における素材作成の基礎を身につける。オブジェクトの作図、画像のレタッチ、画像補正、解像度の理解、レイアウト基本から応用まで、ステップバイステップで複数の技能を身につける。グラフィックデザイナーである遠藤氏、クリエイターである戸塚氏が授業を担当する。 |
| 1  | W1-K09 | 撮影・動画編集基礎 | 140 | 撮影機材の取扱い方、ライティングなど、クライアントの要求に対応した的確な演出方法、撮影方法など、制作のための素材となる静止画、動画の撮影技術を身につける。また簡易編集ソフトウェアで編集し、制作に必要な素材を制作することが出来る。撮影スタジオを営みカメラマン、編集ディレクターである岡田氏が授業を担当する。   |
| 1  | W1-K12 | WEBデザイン基礎 | 40  | Webデザインとは、どのように人を惹きつけ機能しているのか、世にあるWebを分析し研究、考察する。デザインをするうえで必要となる感覚を理解して、前提となる感受性を養う。現役WEBデザイナーである松村氏が授業を担当する。  |
| 合計 |        | 3科目       | 360 |  |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： CADデザイン科

| 学年 | 科目コード  | 科目名            | 時間数 | 内容  |
|----|--------|----------------|-----|---|
| 1  | D1-K07 | 3次元CADモデリングⅠ   | 90  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員が担当する。3次元CADソフトを使い、3次元CADの考え方を把握し、モデリング技術を学習する。2次元スケッチの作成方法から単一部品のモデリング、簡単なアセンブリまでを学習する。                |
| 1  | D1-K08 | 3次元CADモデリングⅡ   | 60  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員が担当する。3次元CADを使い、複雑な形状の製品を製作するため、図面を見ながらサーフェスを含めたモデリング技術を学習する。また、複数の部品から成る製品についてもアセンブリ機能を活用し制作する手法を学習する。 |
| 1  | D1-K12 | CAD概論          | 30  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員が担当する。CADの特性や基本的な操作方法について学習する。CADを活用していく上での総論的な知識を習得する。   |
| 1  | D1-K15 | テクニカルイラストレーション | 30  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。物の形状を視覚的にわかりやすく伝えるために、計量的に物体の形の寸法をとり、その寸法に従って一定のルールで描く立体図の作図方法を学習する。                                     |
| 1  | D1-K20 | マシニング基礎        | 30  | 設計技術者として必要な知識である基本的な加工方法、またそれらを実現するための工作機械の構造や仕組みについて学習する。  |
| 1  | D1-K24 | 3DデジタルワークⅠ     | 60  | デザインの実務経験のある教員が担当する。CADデータを制作するだけでなく、CADデータを活用しながら実物モデルを制作し、基本的なCADからの実物モデル制作の流れを学習する。                                      |
| 2  | D2-K22 | NCとCAD/CAM     | 60  | 自動車関連企業でNC工作機械の実務経験のある教員が担当する。NC制御・工作機械の概要を理解する。また、NC工作機械を動かすためのプログラムを学習する。フライス盤と旋盤を例にNCプログラムのGコードMコード等について学習する。            |
| 2  | D2-K24 | デザインCAD演習      | 60  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員のある教員が担当する。サーフェスを用いたモデリング手法を学習し、機械的なものだけではなくデザイン要素の強い作品も作成可能にする。  |
| 2  | D2-K27 | 生産・製造概論        | 60  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。製品を設計・生産する上で必要となる関連知識を総合的に学習する。  |
| 2  | D2-K28 | カーデザイン         | 60  | デザインの実務経験のある教員が担当する。カーデザインでは車のデザインを通して、企画設計から製品化の流れをシミュレートしながら学習し、製品化までの流れをイメージとしてつかみ、設計図の重要性を学ぶ。                           |
| 2  | D2-K32 | 問題解決技法         | 30  | キャリアコンサルタントとして実務経験のある教員が担当する。社会で直面する様々な問題・課題に対して、論理的思考を身に付け、「自分で答えを見つけ出せる人」になることを目指す。                                       |
| 2  | D2-K36 | 機械システム設計       | 60  | 自動車関連企業で設計経験のある教員が担当する。自動車・機械製品などの分野を主として学び、模型などを用いた実習を通じてより理解を深める。   |

|    |        |          |     |  |
|----|--------|----------|-----|--|
| 2  | D2-K37 | 機械システム演習 | 60  | 自動車関連企業で設計経験のある教員が担当する。実物モデルを参考にしながらCADデータを設計出来るようにする。実物モデルの測定・機構解析を行い、実物モデルに可能な限り近づけるモデリング手法を身に着ける。 |
| 合計 |        | 13科目     | 690 |  |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 文化・教養 学科名： メイク・ブライダル科

| 学年 | 科目コード  | 科目名         | 時間数 | 内容  |
|----|--------|-------------|-----|---|
| 1  | M1-k03 | 文化教養 I      | 20  | 客室乗務員として英語での接客の経験のある講師が担当する。語学や海外文化を学びながら国際感覚を育て、幅広い視野を身につける。ネイティブを招き、英語での接客ロールプレイングを行う。知識と実技を組み合わせた学び。                         |
| 1  | M1-k04 | 接客 I        | 50  | 企業等での接客マナー材育成講師の経験のある講師が担当するサービス接客検定3級の取得。顧客心理への理解を深め、お客様視点やニーズの抽出の仕方を学ぶ。接客ロールプレイングを学び、お出迎えからお見送りまでの一連の動作が出来る。                  |
| 1  | M1-k06 | メイク基礎       | 240 | 化粧品販売員として経験がある講師が担当する。メイク・スキンケアの正しい基礎知識を身につける。技術だけでなく、所作・マナー・時間の感覚・施術者としての基本思考を身につける事で、お客様に支持されるプロとして活躍できる人材になる。JMA検定3級。        |
| 1  | M1-k07 | ヘア基礎        | 80  | 美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。ヘアセットの基礎技術（ブラッシング・ホットカラー・ピンング・アイロン・編み込み）の習得。お客様視点を身につけていく為、基礎の段階から、                                     |
| 1  | M1-k08 | クリエイション I   | 90  | ヘアメイクアップアーティストと美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。コンセプトに合ったヘアメイククリエイションが出来る。狙いに合わせたアイテムや道具の使い方、色・質感・形の違いを学ぶイメージクリエイションを理解する。ヘアとメイク作品制作を行う。 |
| 1  | M1-k09 | ブライダル基礎     | 120 | ブライダルサロンを運営し経験のある講師が担当するAWP検定取得。ブライダル業界のしきたりやマナーなどの基礎知識を学ぶ。実際の式場を見学し流動する現場の今を知る。ブライダル基本のヘアメイクを学ぶ。（花嫁・メンズ・年齢別）ドレスの扱い、小物の扱いを学ぶ。   |
| 1  | M1-k10 | 伝統実技 I      | 60  | 着物教室での指導経験がある講師が担当する。和装の入門として、浴衣の正しい着付けを学ぶとともに体型補正の知識技術を重点的に身につける。小物の正式名称などをしり、和装についての文化や理解を深める。訪問着を学ぶ。                         |
| 1  | M1-k11 | トータルビューティ I | 120 | ネイリストである講師が担当する。ネイル検定3級。アロマ・ネイルなど、美容業界に必要なトータルビューティの知識を身につける。知識だけではなく、お客様に還元できるカウンセリング技術も身に                                     |
| 合計 |        | 8科目         | 780 |   |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： AI×コンピュータ科

| 学年 | 科目コード  | 科目名          | 時間数 | 内容  |
|----|--------|--------------|-----|---|
| 1  | C1-K04 | 情報基礎理論       | 120 | コンピュータの仕組みについて、構成要素、データ表現、記憶装置、プロセッサの動作原理、入出力装置などの基本的な知識を習得する。基数変換などの計算は確実に理解したい。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                           |
| 1  | C1-K05 | 情報リテラシー      | 60  | パソコンの機器構成やWindowsの基本操作及びファイルの操作、Word、Excel、Accessなどを使ってビジネスアプリケーションを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                   |
| 1  | C1-K06 | 特別講座 I       | 30  | 業務データを適切な方法で分析し、当該ビジネスの現状や課題を把握した上で、表やグラフを用いた的確な報告書を作成する。また、ケーススタディを通し、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」と「情報共有スキル」を習得する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。 |
| 1  | C1-K09 | コミュニケーション実践  | 60  | 相手に好印象を与えるための聞く態度・話す態度、仕事の基本である報告・連絡・相談などの職場内での会話、さらには来客や電話の応対などの基礎的なコミュニケーション能力を養う。外資系ホテルにてサービスコンシェルジュとして勤務実績のある教員が指導する。                             |
| 1  | C1-K12 | I C T 基礎     | 180 | ①環境分析、②職務分析(人物像設定)、③出題項目の体系化、④問題作成(検証・試行)、⑤試験の提供、⑥試験の結果分析、などの分析ステップを通してI C Tの活用方法を学ぶ。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                       |
| 1  | C1-K15 | 情報システム戦略     | 90  | 企業経営において、情報システムの活用は重要となっている。本講座では、企業活動、関連法規、経営戦略に関する基礎的な知識を習得し、情報システムがどのように活用されているのかを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                  |
| 1  | C1-K16 | 企業会計と財務分析    | 90  | 本講座では、簿記の基本原則を学び、次いで企業財産の変動について記録・計算・整理する一連の手続き体系と報告体系について学習する。なお、簿記は情報処理の関連知識としても重要な教科である。金融業界での勤務実績のある教員が指導する。                                      |
| 1  | C1-K18 | 就職実践・対策      | 120 | 社会人としての知識・マナーを身に付け、厳しい就職戦線を勝ち抜くための準備を目標とする。演習を通して実際の就職活動への意識を高める。社会人対象にビジネスマナー研修を指導を実施している教員が指導する。  |
| 1  | C1-K19 | アルゴリズムとデータ構造 | 60  | ある問題を解決するための手順や考え方をアルゴリズムという。本講座では、アルゴリズムの図的表現であるフローチャートの書き方と効率的で分かりやすいアルゴリズムの技法を学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                      |

|   |        |                |     |  |
|---|--------|----------------|-----|--|
| 1 | C1-K20 | システム設計基礎       | 60  | システム開発基礎及びC言語で習得した知識を基に、システム開発全体の流れを実習で経験する。システム設計の基本的な手法を学ぶと共に、アドバイスを受けながら簡易なシステムの設計ができることを目標とする。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。   |
| 1 | C1-K22 | プログラミング演習      | 180 | プログラミングの導入、基本としてC言語を学習する。変数と数値計算、制御構造、関数、配列、ポインタ、構造体、標準関数、ファイル処理などの基本事項を習得する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                        |
| 1 | C1-K25 | 特別講座Ⅲ          | 120 | 各種検定試験で行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。(基本情報、応用情報など)情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。   |
| 1 | C1-K26 | 制御プログラミングⅠ     | 180 | 近年、家電や自動車など身近な製品にマイクロコンピュータが組み込まれている。本講座では、代表的なマイコンであるPICマイコンを使用し、LEDを制御するアセンブラ言語のプログラムを作成する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。        |
| 1 | C1-K28 | 業務システム開発Ⅰ      | 180 | システム構想から開発、運用、保守、廃棄に至るまでのシステムライフサイクルを通じて必要となる用語や作業内容などの基本的な知識を習得する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                  |
| 2 | C2-K19 | Web+DBプログラミング  | 60  | ホームページ作成基礎、その他プログラミングの学習を基に、Webサーバ上で動作するサーバサイドのプログラムを作成する。またサーバ側でデータベースを検索し、その結果をブラウザに返す技術についても学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。 |
| 2 | C2-K21 | Windowsプログラミング | 90  | 1年次に学習したC言語を基本に、Windows上で動作するWindowsアプリケーションを作成する。Windowsアプリケーションからデータベースサーバへのアクセス方法についても学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。       |
| 2 | C2-K23 | 制御プログラミングⅡ     | 60  | 1年次に学習したアセンブラ言語を基本に、光、音、温度などの各種センサからの入力情報をPICマイコンで処理し、モータなどのアクチュエータを制御するプログラムを作成する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                  |
| 2 | C2-K25 | Java言語Ⅱ        | 60  | 1年次に学習したJava言語の基礎知識を基に、パッケージやスレッド、GUI、ネットワークなど、アプリケーション作成に必要なとなる実践的な技術を学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が                              |
| 2 | C2-K27 | サーバ構築技術        | 60  | Webサーバなどに使用されるLinuxOSの基本操作から各種サーバ構築について学習する。1年次に学習したネットワークの各種プロトコルが、どの様に実装されるのかを確認する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                |

|    |        |                |       |  |
|----|--------|----------------|-------|--|
| 2  | C2-K28 | Androidプログラミング | 60    | モバイル端末やタブレットで使用されているAndroid OS向けのアプリケーション開発技術を学習する。実機を使用した演習を行い、理解を深める。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                      |
| 2  | C2-K30 | LAN技術          | 60    | 有線LANや無線LAN、スイッチングやルーティングなど、通信ネットワークの基本的な技術について学習する。特にイーサネット、WiFi、STP/RSTP、VLAN、RIP、NAT、IPv6についての規格面を深く学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。 |
| 2  | C2-K31 | 機械学習           | 30    | 近年、画像認識や音声認識技術が身近なものになってきている。本講座では、これら認識技術の基礎となる機械学習の基本事項を習得する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。  |
| 2  | C2-K32 | 企業会計           | 30    | 本講座では、簿記の基本原則を学び、次いで企業財産の変動について記録・計算・整理する一連の手続き体系と報告体系について学習する。なお、簿記は情報処理の関連知識としても重要な教科である。金融機関で勤務実績のある教員が指導する。  |
| 2  | C2-K35 | 資格講座Ⅱ          | 210   | 主として情報処理技術者試験の受験に必要な試験対策を実施する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。   |
| 2  | C2-K36 | 卒業研究           | 150   | 2年間の成果を残すための制作演習を行う。プログラミングまたはネットワークについての学習を目に見えるものとして作品を残す。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。   |
| 合計 |        | 25科目           | 2,400 |  |



# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： セキュリティネットワーク科

| 学年 | 科目コード  | 科目名            | 時間数 | 内容   |
|----|--------|----------------|-----|--|
| 1  | S1-K05 | クラウド基礎         | 30  | 近年、メールやオフィス機能、オンラインストレージなどのクラウドサービスが普及している。企業でクラウド構築経験のある教員が、クラウドサービスの基礎知識を基に、仮想環境上にWebシステムを構築する演習を行うことで、クラウドの導入から運用までの理解を深める。 |
| 1  | S1-K06 | セキュリティマネジメント I | 90  | 企業における情報セキュリティを考えるには、企業活動や経営戦略、関連する法規の理解が必要となる。企業コンサルティング経験のある講師が企業活動、経営戦略、関連法規に関する基礎的な知識を教授する。                                |
| 1  | S1-K09 | セキュリティプログラミング  | 120 | サイバー攻撃の多くは、WebサイトやWebアプリケーションの脆弱性を狙っている。企業でWebプログラミングの経験のある教員が、セキュアなWebサイトやWebアプリケーションを制作する上で必要となる基本的なプログラミング技術を指導する。          |
| 1  | S1-K10 | セキュリティ対策技術 I   | 120 | 組織や企業を脅かすリスクには様々なものがある。これらのリスクを把握し、必要な対策を講じる必要がある。企業でセキュリティ対策の経験のある教員が、脆弱性の発見と予防に必要なセキュリティの基本対策を指導する。                          |
| 1  | S1-K13 | 通信基礎理論         | 60  | 企業でネットワーク構築経験のある教員が、通信の基礎となる電気工学の基礎、電気通信の基礎及び端末設備の技術、ネットワークの技術を指導する。本講座は工事担任者第一級デジタル通信の範囲を網羅する。                                |
| 1  | S1-K14 | ネットワークシステム設計   | 30  | システムエンジニアの経験のある教員が、クライアント/サーバーシステムを設計・運用するために必要となる知識を教授する。実機を利用したシステムからクラウドを利用するシステムまでユーザーの幅広い要望に対応できる知識を習得する。                 |
| 1  | S1-K15 | L A N構築演習 I    | 90  | 企業でネットワーク構築経験のある教員が、イーサネットや無線LAN、TCP/IPなどの基本的なネットワーク知識とL2スイッチやルーターなどネットワーク機器の基本的な動作と設定方法を指導する。実機を使った演習を行い、ネットワークの動作原理の理解を深める。  |
| 1  | S1-K17 | サーバ構築演習 I      | 60  | 企業でサーバ構築経験のある教員が、Webサーバーなどに使用されるLinux OSの基本知識を教授する。基本操作、ユーザー権限、ネットワーク設定、セキュリティ設定からDNS、Webサーバー、メールサーバーなどの各種サーバーの構築を行う。          |
| 1  | S1-K21 | 総合演習           | 30  | 企業でプログラミングの経験のある教員が1、年間の成果を残すための制作演習を指導する。セキュリティプログラミングで学習して知識を利用し、セキュリティについての学習を目に見えるものとして作品を残す。                              |
| 2  | S2-K23 | 情報セキュリティ対策論    | 30  | 組織や企業を脅かすリスクには様々なものがある。これらのリスクを把握し、必要な対策を講じる必要がある。企業でセキュリティ管理経験のある教員が、基本的なサイバー攻撃に対する防御技術を、演習を通して身につける。                         |

|    |        |               |     |   |
|----|--------|---------------|-----|---|
| 2  | S2-K24 | U I デザイン論     | 30  | 情報セキュリティを脅かす脅威は、外部からの攻撃だけではない。操作ミスなどからの情報漏洩も大きな脅威になる。企業でシステム開発経験のある教員が、ユーザインタフェースの重要性と設計に必要な基礎知識を教授する。            |
| 2  | S2-K32 | スマートシステム開発演習Ⅱ | 60  | 企業でサーバ構築経験のある教員が、サーバを防御するためのOSのセキュリティ基礎知識と各種サーバ（DNS、Web、メールサーバ、FTP、SSH）の安全な設定手法、セキュリティ侵害を感知するためのシステムログの管理手法を指導する。 |
| 2  | S2-K34 | L A N 構築演習    | 60  | 企業でネットワーク管理経験のある教員が、スイッチングハブとルーターを利用した有線LANの設計・配線を指導する。TCP/IP、スイッチング、VLAN、ルーティングやアクセスリスト、ファイアウォールなどの知識を深める。       |
| 2  | S2-K37 | クラウド構築演習      | 60  | 企業でクラウドシステム管理の経験のある教員が、ネットワーク、データベース、クラウドの知識を基に、仮想環境上に各種サーバ機能を構築する演習を行うことで、クラウドの導入から運用までの技術を指導する。                 |
| 2  | S2-K38 | データベース構築演習    | 30  | 企業でデータベース構築経験のある教員が、データベースの構築手順と活用技術を指導する。業務システムで多く利用されているユーザ管理や在庫管理などのデータベースを活用したシステムを実際に設計し、構築させる。              |
| 合計 |        | 15科目          | 900 |   |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： ゲームクリエイト科

| 学年 | 科目コード  | 科目名              | 時間数 | 内容   |
|----|--------|------------------|-----|--|
| 1  | G1-K04 | デジタル画像編集基礎       | 60  | ゲーム制作分野におけるキャラクタ、背景、エフェクトなど2D（平面）画像制作に必要な画像編集に関連する技術の習得を目的に、デジタルコンテンツ制作の実務経験のある教員が、画像編集ソフトを利用してデジタル画像の制作演習を行う。   |
| 1  | G1-K05 | アルゴリズムとデータ構造     | 30  | 論理的思考能力を身につけ表現する授業である。システムエンジニアとして実務経験のある教員が、Scratchの活用やフローチャートの読み書き、アルゴリズムの読解を通じ、自らの考えを正確に順序立てて説明できるような学習を行う。   |
| 1  | G1-K06 | プログラミング基礎        | 120 | C言語の学習を通じて、プログラミング言語ならではのルールや記述方法、処理の流れを、プログラマとして実務経験のある教員によって、「読む・書く・考える・伝える」ことができるプログラミングの基礎を学習する。             |
| 1  | G1-K10 | 情報技術基礎Ⅰ          | 150 | 基本情報技術者試験午前免除試験を受験するための対策科目である。実務経験のある教員の講義によって、ハードウェアやソフトウェア、情報数学や経営など、エンジニアを目指すために最初に身につけてほしい知識や技術を学ぶ。         |
| 1  | G1-K11 | 情報技術基礎Ⅱ          | 150 | 基本情報技術者試験 午前免除試験を受験するための対策科目である。実務経験のある教員の講義によって、DB、システム開発、NW、セキュリティ、PMなど、エンジニアとして知っているべき知識や技術を学ぶ。               |
| 1  | G1-K16 | ゲームプログラミング入門     | 120 | プログラミング基礎の授業を基に、Windowsで動作するゲームを開発するための初歩を学習する。APIの活用やゲームライブラリの仕組みを理解するための処理順や技術の習得を目的に、プログラマとして実務経験のある教員が講義を行う。 |
| 1  | G1-K22 | WEB制作基礎          | 60  | Webサイト制作に関する基礎知識と基礎技術の習得を目的に、Webサイト制作の実務経験のある教員の講義を以ってHTMLとCSSに関する知識を学習し、Webサイト制作を通して技術の習得を行う。                   |
| 2  | G2-K25 | ゲームプログラミングⅡ      | 150 | 情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が担当する。DXライブラリを活用した2D、および3Dのゲーム制作の演習を通して、実践的なゲームプログラミングの技術を習得する。              |
| 2  | G2-K27 | オブジェクト指向プログラミングⅠ | 90  | オブジェクト指向プログラミングであるC++言語の記述方法を中心に学習する。学習を通してWindowsプログラムを作成する。  |
| 2  | G2-K29 | ネットワークワプログラミング   | 60  | 「ソケットプログラミング」を通して、TCP/IPネットワーク上で行われている通信の基本原理を理解する。プログラムソースを作成・実行する実習を通して、基礎理論の理解を深める。                           |
| 2  | G2-K34 | キャラクタデザイン        | 90  | ゲーム制作で活用することを目標に、2Dイラストツールなどを用いて、キャラクタ制作の演習を行う。キャラクタを制作するために必要な性格・世界観などの設定についても併せて学習する。                          |
| 2  | G2-K38 | ゲームプランニングⅡ       | 30  | ゲーム制作において企画書・設計書が制作できるようになることを目標に、企画を制作し、実際のプログラムに落とし込む方法を学習、演習する。   |

|    |        |                  |       |  |
|----|--------|------------------|-------|--|
| 2  | G2-K40 | Webプログラミング       | 60    | Web制作の業務においてデザイナー、およびコーダーとして実務経験のある教員が担当する。Webサイト制作の演習を通して、WebサイトやWebコンテンツ制作に必要な技術を体系的に習得する。 |
| 2  | G2-K47 | 作品制作Ⅱ            | 60    | 今までに学習したゲーム制作に関する知識・技術を基礎として、学生個人によるゲーム制作の実習を行う。   |
| 2  | G2-K48 | 作品制作Ⅲ            | 90    | 作品制作Ⅲおよび今までに学習したゲーム制作に関する知識・技術・経験を基礎として、学生個人によるゲーム開発の実習を行う。                                  |
| 3  | G3-K26 | ゲームプログラミングⅢ      | 120   | 学習したゲームプログラムとネットワークの機能を実装することで、オンラインプログラムの基本的な機能を確認する学習する。                                   |
| 3  | G3-K28 | オブジェクト指向プログラミングⅡ | 90    | Java言語によるオブジェクト指向プログラミング技術の習得を目標に、サンプルプログラムを参考にアプリケーション制作の演習を行う。                             |
| 3  | G3-K39 | ゲームプランニングⅢ       | 30    | ゲーム制作に必要なシナリオ、世界観の設定を個人でできることを目標に、実際のゲーム制作実習と連動した演習を行う。                                      |
| 3  | G3-K45 | Linux            | 60    | オンラインゲームで使用されるサーバーの管理・運用の基礎知識・技術習得を目標に、Linux系OSについての講義と、運用の演習を行う。                            |
| 合計 |        | 19科目             | 1,620 |  |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉 学科名： 未来こども科（単位制）

| 学年 | 科目コード  | 科目名      | 単位数 | 内容  |
|----|--------|----------|-----|---|
| 1  | K1-K04 | 情報処理入門 I | 1   | IT企業でシステム開発やOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。コンピュータの基本用語を理解した上で、情報の意味とコンピュータの発達過程、ハードウェア/ソフトウェアについて学ぶ。                                 |
| 1  | K1-K07 | 幼児と言葉    | 1   | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける。  |
| 1  | K1-K08 | 幼児と人間関係  | 1   | 現在、幼稚園園長として幼児教育に携わる教員が指導する。領域「人間関係」に関する知識の習得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。  |
| 1  | K1-K09 | 幼児と環境    | 1   | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。領域「環境」のねらいと内容を理解する。また、「環境とかかわる力」の発達について理解する。自然環境や社会環境などの具体的体験を重視した保育を設定し、実践的に指導する力を養う。                              |
| 1  | K1-K11 | 社会福祉     | 2   | 社会福祉士として社会福祉事業に携わる教員が指導する。少子高齢化、経済社会状況の変化等、現代社会における社会福祉の全体像を理解し、「自立支援」に焦点をおいた社会福祉施策の展開、具体的・個別的な実践を学ぶ。また、児童福祉分野における自立支援、子育て支援の方法について考える。 |
| 1  | K1-K12 | 教育原理     | 2   | 公立幼稚園の園長経験がある教員が指導する。教育の本質・意義・目的・機能、子ども家庭福祉等との関わりを理解し、教育に関する基本的な概念と知識の習得を図ることを目標とする。  |
| 1  | K1-K22 | 社会的養護 I  | 2   | 児童養護施設施設長として施設養護に携わる教員が指導する。現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷、子どもの人権を踏まえた社会的養護の基本を理解する。また、社会的養護の制度や実施体系、対象や形態、関係する専門職種、現状と課題について学ぶ。                |
| 1  | K1-K25 | 保育の計画と評価 | 2   | 幼稚園教諭として幼児教育に携わる教員が指導する。保育の計画と評価の基本を学び、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。また、子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解をする。       |
| 1  | K1-K26 | 保育内容総論   | 1   | 保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。保育所保育の子どもの育ちをめぐる現状と課題、保育所保育の役割、環境を通して行う保育、保育における遊びの位置づけなどの基本原理を理解する。また、指導計画を立案する。                              |
| 1  | K1-K27 | 教育方法論    | 2   | 保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。教育の方法に関する理論的知識を学び、幼児期の教育の方法に関する基本原理を理解する。また、これらを踏まえた保育現場における実践を構想できる。  |

|   |        |                |   |  |
|---|--------|----------------|---|--|
| 1 | K1-K28 | 保育者論           | 2 | 公立幼稚園の園長経験がある教員が指導する。保育職の意義や役割、職務内容、倫理などの基本を学び、保育者に何が求められているのか、保育者として社会の期待に応えるためにはどのような努力をする必要があるのかを考えることから、保育という仕事を遂行していくための能力を形成することを目標とする。また、保育者の資質向上とキャリア形成について理解を深める。 |
| 1 | K1-K30 | 児童文化           | 1 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。児童文化の重要性を十分に認識した上で、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。   |
| 1 | K1-K33 | 保育実習指導 I (保育所) | 1 | 保育所園長経験がある教員が指導する。保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。特に指導計画案の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を身につける。   |
| 1 | K1-K35 | 保育実習 I (保育所)   | 2 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるのか理解する。また、保育の技術や、能力を向上させ、保育観や子ども観を深める。  |
| 1 | K1-K39 | 実習事前・事後指導 I    | 2 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習の意義・目的を理解し、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。  |
| 1 | K1-K43 | 実践講座 I         | 1 | 幼稚園教諭の経験がある教員が指導する。季節の歌や語り継がれる童謡、手遊び、リズム表現等の保育技術を学ぶ。また、保育現場で必要な造形表現技術、児童文化財の製作から実践について学ぶ。  |
| 1 | K1-S03 | 情報処理入門 I S     | 1 | IT企業でシステム開発やOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。コンピュータの基本用語を理解した上で、利用頻度の高い事務系ソフトの基礎的な利活用方法を、演習を通して習得する。  |
| 1 | K1-S08 | 健康 (指導法) S     | 1 | 幼稚園教諭、保育所園長の経験がある教員が指導する。保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領に示される「ねらい」「内容」などの「健康」領域の構造を理解する。「健康」に関する保育内容及び方法を実践的に学び、基礎的な知識・技能を獲得する。  |
| 1 | K1-S09 | 人間関係 (指導法) S   | 1 | 現在、幼稚園園長として幼児教育に携わる教員が指導する。領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。また、子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。  |
| 1 | K1-S11 | 環境 (指導法) S     | 1 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。子どもたちに影響を与える環境の現状・問題について理解し、子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、自然体験・社会体験など具体的生活体験を重視した保育を自ら設定できるようになる。  |
| 1 | K1-S12 | 言葉 (指導法) S     | 1 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。人間にとっての言葉(言語)の役割・言語獲得の理論、子どもの言葉を育む適切な環境を理解する。保育内容「言葉」を理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身につける。   |
| 1 | K1-S18 | 劇あそび (指導法) S   | 1 | 幼稚園教諭、保育所園長の経験がある教員が指導する。領域「表現」のねらいと内容について理解する。子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どのような援助が必要かを考える力、子どもの表現を育てる実践力や指導法を身につける。   |

|    |        |             |    |   |
|----|--------|-------------|----|---|
| 1  | K1-S20 | 児童文化S       | 1  | 児幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握し、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。製作実習、児童文化財を使用した演習（部分実習）を行う。 |
| 1  | K1-S22 | 教育実習事前事後指導S | 1  | 教育実幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。習に向けた「事前」の心がまえや準備に関する基礎的知識を理解する。観察記録の作成、指導計画の立案方法を理解する。                               |
| 1  | K1-S23 | 教育実習①S      | 1  | 幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。幼稚園における教育内容や幼稚園機能、幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。また、観察記録の作成や部分実習の指導計画を立案することができる。                |
| 合計 |        | 25科目        | 33 |   |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務 学科名： 医療事務科

| 学年 | 科目コード  | 科目名           | 時間数 | 内容   |
|----|--------|---------------|-----|--|
| 1  | I1-K07 | 医療事務 I        | 120 | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。保険請求のための診療報酬の算定を迅速かつ正確に行う技能を修得する。あわせて、医療保険制度のしくみと役割についても学習する。                          |
| 1  | I1-K09 | 医療秘書          | 60  | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。病院組織や医療現場に特有な医療・医学や医療事務の基礎的知識を学習し、医者や看護師が行う医療行為を事務的に補助するための知識を修得する。                    |
| 1  | I1-K10 | 基礎医学論         | 60  | 現在も病院で保健師として勤務実績のある教員が授業担当者である。医療チームの一員としての医療秘書にとって基本的な医学知識、そのなかでも解剖生理学、からだの仕組みがどうなっているのかを理解する。                        |
| 1  | I1-K12 | 健康と運動         | 30  | ヨガスタジオ専属インストラクターとし勤務実績のある教員が授業担当者である。社会人として持続的に活躍するために必要な自身の健康管理として、ムラヘルシに必要な運動習慣を身に着けることで社会人になる為の生活基礎力を学習する。          |
| 1  | I1-K14 | 救命救急講座        | 30  | 日本赤十字社指導員による日常生活における事故防止、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ。            |
| 1  | I1-K18 | 病院実習          | 60  | 近隣医療機関の医療スタッフの協力を得て、これからの医療人を育成することを目的に実施する。病院の実際業務を幅広く体験し、医療人としての心構えを養う。  |
| 1  | I1-K23 | 医療業界研究        | 30  | クリニックで医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。高齢化社会や医療技術の向上により、医療分野は大きく変化している。そのような状況を理解しながら、病院における医療行為や事務的業務の基本や常識について学ぶ。       |
| 1  | I1-K26 | ビジネスマナー I     | 30  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。社会人として必要なマナーを理解し、社内や社外の人と円滑に仕事をすすめるための礼儀作法を身につける                                  |
| 1  | I1-K27 | ビジネスマナー II    | 60  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネスマナーに加え、あらゆる職種に共通する接客接遇の技術を習得し、顧客対応の技術向上を図る                                    |
| 1  | I1-K29 | マイクロソフト対策講座 I | 60  | 一般企業でOffice製品による文書作成の勤務実績のある教員が授業担当者である世界標準であるオフィスソフトの中で、Wordについてより多くの機能について学習する。<br>マイクロソフトオフィススペシャリスト試験（Word）合格を目指す。 |
| 1  | I1-K32 | メイク・ファッション    | 30  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネスマナーの一部として、それぞれの場面に応じたメイクやファッションについて理解を深め、自ら表現できるようにする。                        |



|   |        |              |    |   |
|---|--------|--------------|----|---|
| 2 | I2-K08 | 国際コミュニケーションⅡ | 30 | 市教育委員会で外国人サポーターとして勤務実績のある教員が授業担当者である。外国人が医療機関を利用するケースも増え、浜松地区ではポルトガル語の対応も必要である。医療事務員として最低限必要な窓口ポルトガル話を、実践的に学習する。            |
| 2 | I2-K14 | 保険請求事務Ⅱ      | 30 | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。診療報酬制度は、厚生労働省より改正が行われる。1年次に学習した内容の改正点を重点的に学習し、新制度への対応を図る。                                   |
| 2 | I2-K15 | 保険請求事務Ⅲ      | 60 | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。より実務レベルを想定した診療報酬計算を身に付ける。また現場職員のスキルアップの位置づけとされている、診療報酬請求事務能力認定試験の合格を目指す。                    |
| 2 | I2-K19 | 実践介護講座       | 60 | 介護関連施設でヘルパーとして勤務実績のある教員が授業担当者である。医療機関の多くの利用者は高齢者である。不自由な患者さんには、待合室から診察室までの介助が必要である。実践的に体の不自由な方や、お年寄りの介助について学習する。            |
| 2 | I2-K28 | ドクターズクラーク    | 90 | クリニックで医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。診療録や各種診断書・証明書・処方箋などの医療文書の作成など、従来医師が行っていた業務を医師の指示のもとで行う業務の知識を学ぶ。医師事務作業補助者の資格を取得する。       |
| 2 | I2-K32 | コミュニケーション技法Ⅱ | 30 | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネス会話の基本である言葉づかいから、相手に好印象を与えるための聞く態度・話す態度、仕事の基本である報告・連絡・相談などの基礎的なコミュニケーション能力を養う。      |
| 2 | I2-K37 | マイクロソフト対策講座Ⅱ | 60 | 一般企業でOffice製品による文書作成の勤務実績のある教員が授業担当者である。世界標準であるオフィスソフトの中で、Excelについてより多くの機能について学習する。マイクロソフトオフィススペシャリスト試験(Excel)合格を目指す。       |
| 2 | I2-K38 | ホームページ制作     | 30 | 情報処理関連企業でHP作成の勤務実績のある教員が授業担当者である。情報発信の基本となるHTMLについて学習し、ホームページの作成方法を習得する。より視覚的に印象の残るホームページの作成を学習することで、病院ホームページの更新作業などに活用できる。 |
| 2 | I2-K39 | データベース       | 30 | 一般企業でデータベース作成の勤務実績のある教員が授業担当者である。データベースの基本的な機能は、「データ蓄積機能」と「データ抽出機能」である。データベースの中で現在もっともよく使われているリレーショナルデータベースを学習する。           |
| 2 | I2-K40 | ビジネス文書技法     | 30 | 一般企業でOffice製品による文書作成の勤務実績のある教員が授業担当者である。ワープロを使いこなして、文字・記号・画像入力・編集・加工などを活用したビジネス文書の作成法を学習する。また文書デザイン検定試験に挑戦する。               |
| 2 | I2-K43 | アロマセラピー      | 30 | 美容室で美容師、アロマセラピーとして勤務実績のある教員が授業担当者である。心と健康のバランスを保つためにも有効なアロマセラピーの知識を身につけ、それぞれの職場における職場環境などに配慮できるように知識を身につける。                 |

|    |        |            |       |  |
|----|--------|------------|-------|--|
| 2  | I2-K44 | カラーコーディネイト | 30    | カラーコンサルティング関連企業でカラーアナリストとして勤務実績のある教員が授業担当者である。色彩学の基礎を学び、ビジネスの場面や自分に合った色を理解するとともに、待合室の雰囲気づくりなど活用する知識を身につける。 |
| 合計 |        | 23科目       | 1,080 |  |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： 国際IT・CAD科

| 学年 | 科目コード  | 科目名      | 時間数 | 内容  |
|----|--------|----------|-----|---|
| 1  | R1-K07 | ビジネスマナー  | 30  | 民間企業で採用を担当していた教員が社会人として必要な立ち振る舞いを指導する。相手を不快にさせず、人間関係を円滑にすすめるための言葉づかい、姿勢、表情も身に付けさせる。               |
| 1  | R1-K21 | IT基礎技術 I | 60  | 民間企業でオフィスソフトウェアを活用した実務経験のある教員が、コンピュータの基本的な操作、ファイルとフォルダの管理、タイピング、MicrosoftOffice (Word、Excel) を学ぶ。 |
| 1  | R1-K32 | アルゴリズム   | 30  | 民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、プログラムの構築に必要な考え方、これを図式化したフローチャートにより視覚化し、最良の手順で作成する技術を指導する。                  |
| 1  | R1-K33 | 機械制御基礎   | 30  | 民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、STEM教育により各種センサを用いて、どのようなしくみで機械をプログラム制御するかを実習をとおして習得する。                     |
| 1  | R1-K37 | 基礎製図     | 60  | 民間企業で製図業務経験がある教員が、機械製図の基礎的な知識・方法、及び立体表現に必要な図学の基礎知識、製図の作成における知識をJIS規格に則り習得し、CAD技術者としての基礎を身につける。    |
| 1  | R1-K39 | CAD基礎    | 90  | CAD技術者として実務経験がある教員が、世界標準となっているCADソフトAutodesk社のAutoCAD(2次元)、Inventor(3次元)を使用して、CADによる図面作成を指導する。    |
| 1  | R1-K43 | 資格検定対策 I | 30  | 情報処理技術者および製図業務としての経験がある教員が、CAD利用技術者試験「基礎」ランクの合格を目指し、指導する。   |
| 合計 |        | 7科目      | 330 |   |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務 学科名： 国際観光・ビジネス科

| 学年 | 科目コード | 科目名         | 時間数 | 内容   |
|----|-------|-------------|-----|--|
| 1  | T1-07 | ビジネスマナー     | 30  | 民間企業で採用を担当していた教員が社会人として必要な立ち振る舞いを指導する。相手を不快にさせず、人間関係を円滑にすすめるための言葉づかい、姿勢、表情も身に付けさせる。          |
| 1  | T1-21 | I T 基礎技術 I  | 60  | 民間企業で実務経験のある教員が、コンピュータの基本的な操作、ファイルとフォルダの管理、タイピング、MicrosoftOffice (Word、Excel) を学ぶ。           |
| 1  | T1-30 | 営業マネジメント I  | 30  | 民間企業でマネジメント業務を行っていた教員が観光業界におけるさまざまな「商品」について、観光地の特色と関連付けながら指導する。                              |
| 1  | T1-32 | サービス・接遇 I   | 120 | サービススタッフとしてのあいさつ、姿勢、敬語の使い方など基本的な項目を学び、サービス接遇検定準1級ロールプレイング合格を目指す。また、お客様の立場にたった「おもてなし」についても学ぶ。 |
| 1  | T1-35 | 接客英語 I      | 60  | ホテルでの実務経験のある教員が主にホテル業界で使用する英語について教える。専門的な単語から頻出表現まで、英語を聞き取り、答えられる能力を身につけさせる。                 |
| 1  | T1-38 | TOEIC対策 I   | 30  | 英語を使って業務にあっていた教員が基本的な英語能力を習得する。TOEIC400点を目指す。  |
| 1  | T1-41 | ツアープランニング I | 30  | 旅行会社で勤務経験のある教員が浜松周辺の観光素材について指導する。フィールドワークを行ったり、簡単な近場のプランニングを指導する。                            |
| 1  | T1-43 | ホテル基礎知識     | 30  | ホテルでの実務経験のある教員がホテルの歴史、分類、業界の特徴、各部門の役割と業務等、ホテルについての基礎的な知識について指導する。                            |
| 1  | T1-44 | ホテル実務 I     | 30  | ホテルでの実務経験のある教員がホテルの各セクションの業務内容について指導する。また、ホテル実務技能検定試験初級の合格を目指す。                              |
| 合計 |       | 9科目         | 420 |  |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉 学科名： 国際介護福祉科

| 学年 | 科目コード  | 科目名             | 時間数 | 内容   |
|----|--------|-----------------|-----|--|
| 1  | F1-K06 | 人間関係とコミュニケーションⅠ | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生は、利用者や職員とのチームケアを実践できるよう、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、人間関係形成に必要な基礎的なコミュニケーションを理解し、実践する。               |
| 1  | F1-K10 | 介護の基本Ⅱ          | 60  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生が介護を適切に行う能力と態度を身に付けるために、介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解する。                               |
| 1  | F1-K12 | コミュニケーション技術Ⅰ    | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生は、利用者や職員とのチームケアを実践できるよう、コミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション技術を理解し、実践する。                   |
| 1  | F1-K14 | 生活支援技術Ⅱ         | 90  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生は利用者が本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する。  |
| 1  | F1-K16 | 介護過程Ⅰ           | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生は、利用者が望む生活の実現に向けた介護実践のために、生活課題の分析を行い、根拠に基づく課題解決の思考過程を習得する。                                 |
| 1  | F1-K18 | 介護総合演習Ⅰ         | 60  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生は、介護実習を行うために、介護実践に必要な知識と技術の統合や、学生自ら介護観を形成し、専門職としての態度を習得する。                                 |
| 1  | F1-K20 | 介護実習Ⅰ           | 300 | 学生は利用者の生活を理解するために、利用者本人や家族とのコミュニケーションや生活支援等の基礎的な実践を行う。   |
| 1  | F1-K22 | こころとからだのしくみⅠ    | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生が介護を必要とする人の生活支援を行うために、介護実践の根拠となる人間の心理・人体の構造や機能を理解するために学習をし知識を習得する。                         |
| 1  | F1-K24 | 発達と老化の理解Ⅰ       | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生が人間の成長と発達の過程において、身体的・心理的变化及び老化が生活に及ぼす影響を学習し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を習得する。        |
| 1  | F1-K26 | 認知症の理解Ⅰ         | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。認知症の人の心理や身体機能・社会的側面に関する基礎的な知識を習得し、認知症の人を中心に、本人や家族、地域の力を生かした認知症ケアについて理解するために基礎的な知識を習得する。      |
| 1  | F1-K28 | 障害の理解Ⅰ          | 30  | 介護法人で実務経験のある教員が授業担当者である。学生が障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を学習し、障害のある人の地域での生活や、本人・家族や地域を含めた周囲の環境への支援をするために基礎的な知識を習得する。 |
| 合計 |        | 11科目            | 720 |  |

## 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務      学科名： ビジネスライセンス科

| 学年 | 科目コード  | 科目名              | 時間数 | 内容  |
|----|--------|------------------|-----|---|
| 2  | L2-K14 | コンピュータ会計         | 30  | 金融機関で勤務した教員が、財務諸表や初歩的な原価計算について指導を行う。全経商業簿記2級、全経工業簿記2級の取得を目指す。       |
| 2  | L2-K16 | 企業運営演習Ⅱ          | 60  | 企業で勤務している教員が、企業運営を通して、ビジネスマナー・パソコン操作・簿記会計について指導を行っていく。              |
| 2  | L2-K17 | 株取引演習            | 30  | 金融機関で勤務した職員が、株式の模擬売買を通して、経済・社会・企業の動きについて学習する。                       |
| 2  | L2-K20 | ファイナンシャルプランニング演習 | 120 | 金融機関で勤務していた教員が、ライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行い、ファイナンシャルプランニング2～3級合格を目指す。 |
| 2  | L2-K26 | コミュニケーション技法Ⅱ     | 30  | 営業職で勤務していた教員が、社会人として必要なコミュニケーションスキルや相手に好印象を与える技法について指導を行っていく。       |
| 2  | L2-K36 | MOS対策講座Ⅱ         | 30  | 企業においてOfficeを用いた業務経験があり、現在はパソコン教室で実際に個別指導を行っている教員がMOS対策授業を行っている。    |
| 合計 |        | 6科目              | 300 |   |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉 学科名： こども保育科

| 学年 | 科目コード  | 科目名         | 時間数 | 内容   |
|----|--------|-------------|-----|--|
| 2  | K2-K07 | ワープロ・表計算Ⅱ   | 30  | 一般企業でOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。ワープロ・表計算Ⅰに引き続き、ワープロの「Word」と表計算の「Excel」を使いこなせるよう、学習していく。   |
| 2  | K2-K26 | 保育原理        | 30  | 認定こども園園長として保育に携わる教員が指導する。保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、乳幼児の特性や保育の思想・制度の発達などを理解し、保育に関する基本的な知識を学習する。  |
| 2  | K2-K29 | 保育の心理学      | 30  | 臨床心理士として教育機関などでカウンセリングに携わる教員が指導する。保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性に即した援助、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。 |
| 2  | K2-K30 | 子ども家庭支援の心理学 | 30  | 臨床心理士として教育機関などでカウンセリングに携わる教員が指導する。生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。また、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。                                      |
| 2  | K2-K32 | 幼児への特別な支援   | 15  | 児童発達支援に関わる会社を運営する教員が指導する。特別支援教育に関する制度の仕組み、各障害のある幼児の発達や特性、教師の支援の方法について学んでいく。また、個別の指導計画等の作成の基礎、他機関や家庭と連携についても学ぶ。                                   |
| 2  | K2-K34 | 子どもの保健      | 30  | 保健師として保健医療に携わる教員が指導する。子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義、身体的な発育・発達と保健、子どもの心身の健康状態とその把握方法等を理解する。また、子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携の下での適切な対応を学ぶ。                          |
| 2  | K2-K35 | 子どもの食と栄養    | 15  | 管理栄養士として病院への勤務経験がある教員が指導する。小児の発育・発達の特性、栄養に関する知識をふまえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食教育の重要性を理解することを目標とする。   |
| 2  | K2-K37 | 乳児保育Ⅰ       | 30  | 助産師として乳幼児保健・医療に携わる教員が指導する。乳児保育の意義と目的、歴史的変遷及び役割、保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。3歳児未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制、職員間や保護者、関係機関等の連携について学ぶ。         |
| 2  | K2-K41 | 教育相談        | 30  | 公立小学校でスクールカウンセラーに携わる教員が指導する。子どもの心の成長やつまずき、保護者への支援に関しての理解を、臨床心理学視点から深め、子どもや家庭への支援の基礎を学ぶことを目標とする。  |
| 2  | K2-K44 | 実習事前・事後指導Ⅱ  | 30  | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習事前・事後指導Ⅰに引き続き、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。   |

|   |        |                   |    |  |
|---|--------|-------------------|----|--|
| 2 | K2-K47 | 実技演習Ⅱ             | 30 | 幼稚園教諭の経験がある教員が指導する。歌や手遊び、劇、身体表現等、保育の現場で必要となる保育技術を学び、実際の保育現場で実践する。  |
| 2 | K2-K52 | 実践講座Ⅱ             | 30 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実践講座Ⅰに引き続き、季節の歌や語り継がれる童謡、手遊び、リズム表現等を学習する。また、保育現場に必要な造形表現技術、児童文化財の製作～実践について学ぶ。                   |
| 2 | K2-K60 | 子どもと環境Ⅰ           | 30 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。幼児教育＝「環境を通して行われる保育」における環境設定について学ぶ。また、さまざまな自然体験を通して、自然への理解や関心を深める。                                      |
| 2 | K2-S14 | 障害児保育S            | 20 | 児童発達支援に関わる会社を運営する教員が指導する。障害児保育の対象となる障がいの特徴について理解し、障害児保育の実際や保護者支援に関する基礎的な知識を習得する。   |
| 2 | K2-S17 | 子どもの食と栄養S         | 20 | 管理栄養士として病院への勤務経験がある教員が指導する。小児の発育・発達特性、栄養に関する知識をふまえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食教育の重要性を理解することを目標とする。                        |
| 2 | K2-S18 | 社会的養護ⅡS           | 20 | 児童養護施設施設長として施設養護に携わる教員が指導する。子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の実際について理解する。また、社会的養護における計画・記録・自己評価の実際、子どもの虐待防止と家庭支援について理解する。 |
| 2 | K2-S19 | 乳児保育ⅡS            | 20 | 助産師として乳幼児保健・医療に携わる教員が指導する。3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学び、養護及び教育の一体性を踏まえた子どもの生活や遊び、保育の方法や環境、配慮について理解する。         |
| 2 | K2-S22 | 子育て支援S            | 20 | 現在、保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援の特性と展開を理解する。また保育士の行う子育て支援について実践事例を通して具体的に理解する。                    |
| 2 | K2-S24 | 保育実習事前事後指導Ⅰ(保育所)S | 20 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。特に指導計画書の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を身につける。                                     |
| 2 | K2-S26 | 保育実習Ⅰ(保育所)S       | 60 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるのか理解する。また、保育の技術や、能力を向上させ、保育観や子ども観を深める。                              |
| 2 | K2-S29 | 教育実習事前事後指導S       | 20 | 幼稚園教員としての経験がある教員が指導する。教育実習に向けた「事前」の心がまえや準備に関する基礎的知識を理解する。観察記録の作成、指導計画の立案方法を理解する。   |
| 2 | K2-S30 | 教育実習①S            | 30 | 幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。幼稚園における教育内容や幼稚園機能、幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。また、観察記録の作成や部分実習の指導計画を立案することができる。                       |
| 3 | K3-K08 | ワープロ・表計算Ⅲ         | 30 | 一般企業でOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。保育者が子どもや保護者と接する基本的な姿勢、また園長や先輩保育者の子どもへの接し方や同僚とのかかわり方、社会人としてのマナーなどを学習する。              |



|    |        |              |       |   |
|----|--------|--------------|-------|---|
| 3  | K3-K33 | 児童文化         | 15    | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。子どもの脳及び心身の発達について理解を深め、それを基盤にして子どもの知的・身体的障害について理解を深めていく。                                      |
| 3  | K3-K42 | 保育・教職実践演習    | 15    | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。自らの学びを振り返り、保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技能の習得を確認する。   |
| 3  | K3-K45 | 実習事前・事後指導Ⅲ   | 30    | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習事前・事後指導Ⅰ・Ⅱに引き続き、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。                |
| 3  | K3-K53 | 実践講座Ⅲ        | 120   | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実践講座Ⅰと実践講座Ⅱの集大成として、季節の歌や語り継がれる童謡を学ぶとともに、こども教育に必要な手遊びを学習する。                                   |
| 3  | K3-K56 | こどもと絵本       | 30    | 公立保育所園長の経験があり、保育現場等の読み聞かせ活動に携わる教員、図書館司書等が指導する。絵本を通じて集中力・理解力・人間関係など様々な力が育まれるよう、子どもと絵本の関わり方を学習する。                         |
| 3  | K3-K61 | 子どもと環境Ⅱ      | 30    | 幼稚園教諭、保育所園長の経験がある教員が指導する。幼児教育＝「環境を通して行われる保育」における環境設定について学ぶ。また、さまざまな自然体験を通して、自然への理解や関心を深める。                              |
| 3  | K3-K64 | 卒業研究         | 60    | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまでの学習を通して、さらに学びたいと考えている事柄について自ら研究を深め、専門分野の知識を高める。研究物のまとめ方などの手法を学び、自分の考えを分かりやすく表現することを経験する。 |
| 3  | K3-S15 | 児童文化S        | 20    | 幼稚園教諭及び保育士の経験がある教員が指導する。児童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握し、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。                                   |
| 3  | K3-S16 | 子どもの健康と安全S   | 20    | 保健師として保健医療に携わる教員が指導する。現代社会における心の健康問題やこどもの疾病と、その予防及び適切な対応について学ぶ。   |
| 3  | K3-S23 | 保育・教職実践演習S   | 20    | 幼稚園教諭及び保育士の経験がある教員が指導する。自らの学びを振り返り、保育士、幼稚園教諭として必要な知識・技能を確認し、保育者として必要なコミュニケーション能力を習得し、使命感と職務内容について理解する。                  |
| 3  | K3-S27 | 保育実習Ⅰ（施設）S   | 60    | 施設保育士としての経験がある教員が指導する。児童福祉施設での保育を実践する。福祉施設の事を理解し、自分なりの目標を定め、実習に取り組む。  |
| 3  | K3-S31 | 教育実習②S       | 90    | 幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。教育実習①Sでの体験を活かし、指導実習を主とした実習を行う。  |
| 3  | K3-S33 | 保育実習事前事後指導ⅡS | 20    | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。指導計画書の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を身につけることを目的とする。   |
| 合計 |        | 36科目         | 1,150 |   |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務 学科名： 国際ITビジネス科

| 学年 | 科目コード  | 科目名         | 時間数 | 内容  |
|----|--------|-------------|-----|---|
| 2  | R2-K06 | ビジネスマナー I   | 30  | 民間企業で採用を担当していた教員が、就職のルール、就労意識等を指導する。また、履歴書作成、面接練習なども行い、就職活動の準備も行う。        |
| 2  | R2-K19 | IT基礎技術      | 60  | 民間企業で業務経験のある教員が、あらゆる文書をWordで作成できるよう、指導する。また、文書デザイン検定2級～3級の取得を目指す。         |
| 2  | R2-K21 | 情報リテラシー     | 60  | 民間企業で業務経験のある教員が、表計算検定検定2級～3級の取得を目指し、指導する。                                 |
| 2  | R2-K24 | ホームページ制作 I  | 60  | ソフトウェア開発会社でシステムエンジニアの経験がある教員が、HTML, Javascriptを用いて簡易なホームページを作成できるよう、指導する。 |
| 2  | R2-K27 | アルゴリズム      | 30  | 民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、プログラミングの基礎となるアルゴリズムについて指導する。                       |
| 2  | R2-K28 | プログラム言語 I   | 90  | 民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、プログラム言語を使ってプログラミングできるよう指導する。                       |
| 2  | R2-K32 | システム開発演習 I  | 30  | 民間企業でシステム開発業務経験のある教員が、VBAを用いて簡単なシステムを開発できるよう指導する。                         |
| 2  | R2-K34 | 基礎製図        | 30  | 民間企業で製図業務経験のある教員が、製図における基礎を習得できるよう指導する。                                   |
| 2  | R2-K35 | CAD概論       | 30  | 民間企業で製図業務経験のある教員が、CAD製図における基礎を習得できるよう指導する。                                |
| 2  | R2-K36 | 機械2次元CAD I  | 60  | 民間企業で製図業務経験のある教員が、機械系2次元CAD製図における基礎を習得できるよう指導する。                          |
| 2  | R2-K38 | 機械3次元CAD I  | 60  | 民間企業で製図業務経験のある教員が、機械系3次元CAD製図における基礎を習得できるよう指導する。                          |
| 2  | R2-K45 | ツアープランニング I | 120 | 旅行会社で働いていた教員が、旅行業界、ツアープランニングの基本の知識と技術を指導する。                               |
| 2  | R2-K47 | ホテル概論       | 30  | ホテル会社に勤務していた経歴がある教員が、ホテル業界の基礎について指導する。                                    |
| 2  | R2-K48 | ホテル実務       | 30  | ホテル会社に勤務していた経歴がある教員が、ホテルでの業務について指導する。                                     |
| 2  | R2-K51 | ホテル専門用語活用 I | 30  | ホテル会社に勤務していた経歴がある教員が、ホテルを中心とした接客の場面で使用する英語を指導する。                          |
| 3  | R3-K07 | ビジネスマナー II  | 30  | 民間企業で採用を担当していた教員が、就職のための指導を行う。また、就労後を意識したビジネスコミュニケーションも指導する。              |
| 3  | R3-K10 | 財務管理        | 30  | 金融機関での勤務経験がある教員が、財務知識の基礎と社会制度について指導する。                                    |
| 3  | R3-K25 | ホームページ制作 II | 60  | ソフトウェア開発会社でシステムエンジニアの職歴を持つ教員が、ツールを使用し、動きのあるホームページの作成を指導する。                |
| 3  | R3-K33 | システム開発演習 II | 90  | 民間企業での業務経験のある教員が、VBAを用いて複雑なシステムを開発できるよう指導する。                              |
| 3  | R3-K39 | 機械3次元CAD II | 60  | 民間企業で製図業務経験のある教員が、機械系3次元CAD製図における基礎を習得できるよう指導する。                          |

|    |        |            |       |  |
|----|--------|------------|-------|--|
| 3  | R3-K40 | 機械CAD演習    | 90    | 民間企業で製図業務経験のある教員が、機械系CADにより設計されたものを実際に製作できるよう指導する。   |
| 3  | R3-K46 | ツアープランニングⅡ | 120   | 旅行会社で働いていた職歴を持つ教員が、観光業の基本的な知識ツアープランニングの基本知識と技術を指導する。 |
| 3  | R3-K49 | ホテル総論      | 30    | ホテル会社に勤務していた経歴がある教員が、ホテル業界の動向について指導する。               |
| 3  | R3-K50 | ホテル研究      | 30    | ホテル会社に勤務していた経歴がある教員が、実際のホテル勤務を想定した実習指導を行う。           |
| 3  | R3-K52 | ホテル専門用語活用Ⅱ | 30    | ホテル会社に勤務していた経歴がある教員が、ホテルを中心とした接客の場面で使用する英語を指導する。     |
| 合計 |        | 25科目       | 1,320 |  |